

日本のサイバーセキュリティを「連携」「学び」「創造」



SEA/J 講師研究会 基礎編テキストおよび試験の改訂について

日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
教育部会 教育実証 ワーキンググループ リーダー
垣内 由梨香

JNSA教育実証 WG 活動

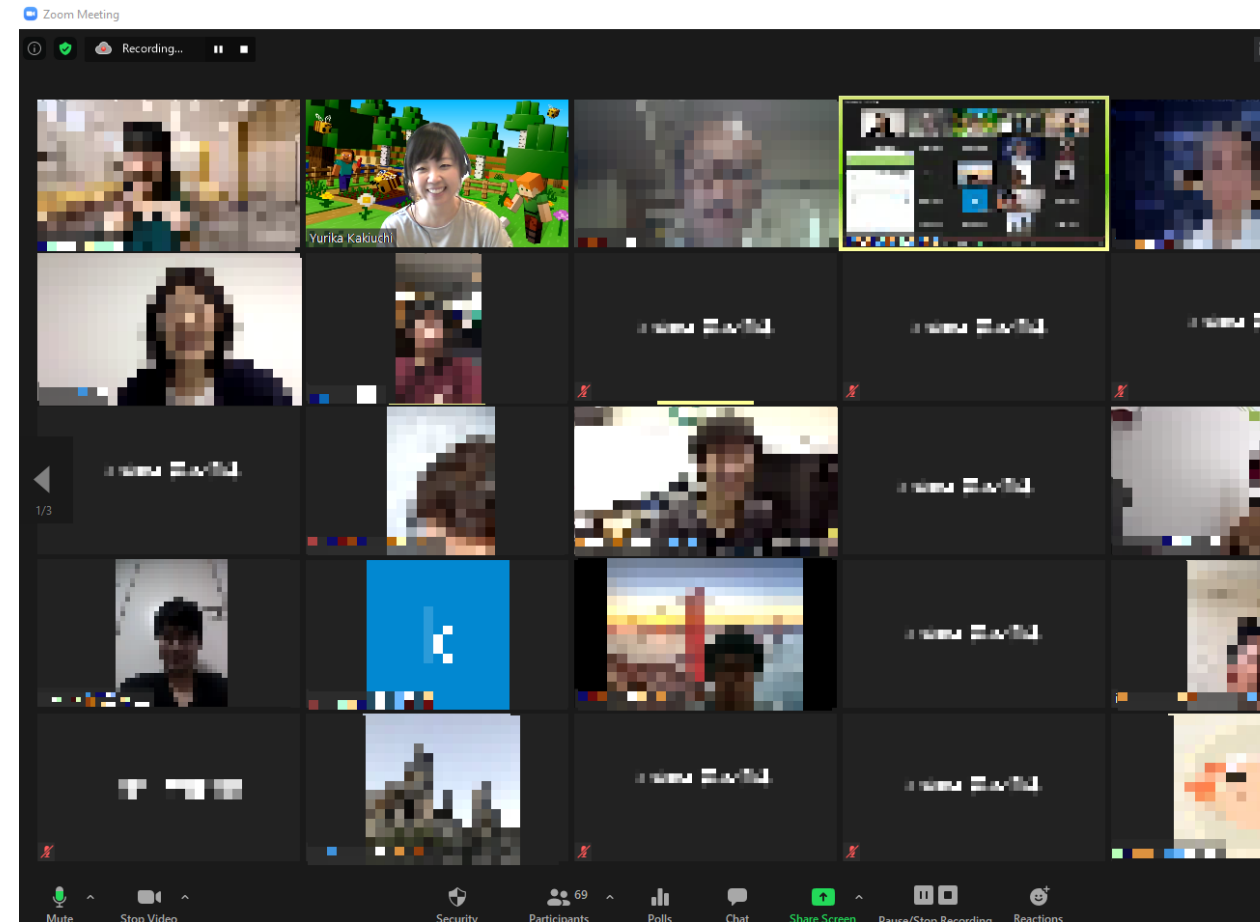
- 活動目的

- 情報セキュリティを教えることが出来る高度なスキルをもった人材を育成する
- 大学等での講義を通じて、実践力とハイレベルスキルを習得する
- 作成した成果物（講義コンテンツ）のJNSA会員企業への共有と他の学校関連や団体への展開により、業界全体の成長に貢献する

主な活動① 岡山理科大学 講義実施



- 岡山理科大学 総合情報学部 情報科学での情報セキュリティ講義
- セキュリティ最前線の情報を、実際の経験を交えて講義
- 年間スケジュール
 - 3月：キックオフ
 - 次年度講義スケジュールに基づいて担当の割り振り
 - 新たなメンバーやU40からの参加も促進
 - 4月～8月：講義の実施
 - 講義担当者、前回講義担当者で実施
 - 中間テスト・期末テストも実施
 - 最終講義は現地で実施し受講者と交流
 - 9月～2月：振り返り
 - 内容やテンプレートの更新



主な活動② 要望に応じた講義の実施



企業組織の第一線で活躍する専門家による、実践的な講義を提供

- K-SEC での講義実施
 - 対象：高専生
 - 内容：クラウドセキュリティ ハンズオン講座：Microsoft 365 を用いたアクセス管理、インシデントレスポンス演習
- 中小企業大学校 での講義実施
 - 対象：中小企業への支援員
 - 内容：クラウドセキュリティ ハンズオン講座：Microsoft 365 を用いた企業組織のクラウド活用とセキュリティ管理の演習

主な活動③ 講師育成プログラム



セキュリティを「教えることができる人」を増やす

・プロジェクトの活動内容

- ・ 情報セキュリティの基礎を教えるための人材を育成する
- ・ 講師のスキルについて情報共有をする（ベストプラクティスや教材の作成、改訂、勉強会の実施）
- ・ 講師派遣要請の紹介をする

・講師育成プログラムの特徴

- ・ 教育実証ワーキンググループがこれまでにやってきた情報セキュリティの講義活動から得られた知見を活かし、実践的な講義を行うための計画、立案、実施方法をプログラムに取り入れている
- ・ 経験豊かな講師と共に、実際の講義を担当し、実践でスキルを磨くことができる
- ・ ワーキンググループで、他組織の人材と交流し、見識を広めることができる

主な活動④ SEA/J との連携



- 一般社団法人セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン (SEA/J)
- 2022 年より連携強化を再開
- 目的
 - SEA/Jカリキュラム講義を担当している先生方のレベルアップ支援により、学生の習得度アップを目指す（基礎編を中心）。その結果として認定試験の合格率向上を図る。
 - セキュリティに対して学生により興味をもってもらい、プラス・セキュリティも含めたセキュリティ人材充足へ貢献していく。
 - 本企画を含め各種支援策を実施することにより認定校からの信頼を厚くし、継続したSEA/J の採用を固めていく。

主な活動④ SEA/J との連携：内容



企業組織の第一線で活躍する専門家による、実践的なセキュリティの知識を共有し、SEA/J 認定校講師の講義や講師を向上する

• JNSAからSEA/J

- 事業企画立案への協力
- 教材／試験問題等の開発協力
- アカデミー認定校への各種支援企画への協力
- 先生方への勉強会、補助教材の制作、セキュリティ実務者の講義提供等
- SEA/J開催のイベント、セミナー等における共催、登壇者調整協力等
- SEA/J講師認定制度における講師認定審査会の運営

• SEA/Jから JNSA

- 認定資格試験受験、認定教育コースのJNSA会員割引
- SEA/J一般認定校に新規参加する場合の年会費等のJNSA会員割引
- SEA/Jアカデミー認定校と学生に向けて各種情報発信
- JNSAインターンシップ産学交流会、JNSA会員インターンシップ募集情報、JNSA会員企業説明会等の学生向けイベント等
- 講師育成や教育実証の場の提供
- JNSA会員のトレーナースキルアップとしての経験の場やJNSA教育部会の育成メソッドづくりとして検証の場の提供

基礎編テキスト改訂について

基礎編テキスト 改定背景

- **技術の進化:** クラウド技術やID管理など、近年の技術進化に対応した内容が含まれていない。
- **最新情報の必要性:** 現在の技術トレンドや業界標準に合わせた最新情報を提供する必要がある。
- **市販の書籍との近似性が乏しい:** 現在よく利用されている書籍や教育目的動画等と章立てが剥離している部分があり、受講生の理解向上や補助教材の導入が難しい部分がある。

テキスト全体にわたる大幅な改定をすることで、より効率のよい講義・学習定着が期待できる

現在の状況

- SEA/J 基礎編テキスト
 - 改訂版の公開完了
 - 年次で更新を予定
- SEA/J 基礎編 試験
 - 改訂版テキストの内容で、試験開始
- SEA/J 基礎編 試験 練習問題集：
 - 改訂版テキスト・試験に沿った内容へと更新中

